



カバー表▶ウィーン市第3区の聖マルクス墓地のモーツァルト記念碑（1870年建立）

カバー裏▶ウィーンを中心にそびえる聖シュテファン大聖堂をシュテファン広場とグラーベンの角のあたりから見上げた景観

カバー折返し▶シェーンブルン宮と南側庭園の装飾花壇

扉▶未完のモーツァルトの肖像画。義兄のヨーゼフ・ランゲの作による、青年像を画いた唯一の油絵（1782/83年作、モーツァルト博物館所蔵）

music gallery special
モーツァルトの旅

5

海老沢敏 文 | 稲生永 写真

ウィーン

Wien

栄光と黄昏



モーツァルトの旅 5

ウィーン
Mozart
栄光と黄昏



稲生永 ◆ 写真
海老沢敏 ◆ 文

音楽之友社

ISBN4-276-38405-2 C0073 P2200E

定価2200円(本体2136円)

music gallery special

モーツァルトの旅

5

海老沢 敏文 | 稲生 永 写真

ヴェーバー

栄光と黄昏



音楽之友社

ウィーンのモーツァルト

モーツァルトの旅。それはまことに多様多彩であり、またまことにはるかではあった。モーツァルトの、音楽家としてのモーツァルトの、エピソードに満ち、成功に恵まれた最初の旅は、ミュンヘンへの旅ではなく、ウィーンへのそれであった、と私は思うのだ。ウィーン来訪の経験は幼ない童子のモーツァルトが初めて歩いたモーツァルトにとって、繰返され、そして孤独な自立する音楽家モーツァルトの飛躍への礎となった。

そして、最後の旅は、最後の活動の場への旅は、ウィーンを目指してのそれであった。否、これは正確ではないかも知れぬ。モーツァルトが、ザルツブルクの大司教コロレド伯によって、ウィーンへと召喚されたのは、けつしてモーツァルトの意志ではなかった。だが、モーツァルトが旅先ミュンヘンから直接ウィーンに向わなければならなかったのは、あるいは大司教の気紛れの、あるいは当然の命令であったにせよ、それはおそろしく彼が信仰していた神の思召しであり、そして歴史の必然であつたらう。

こうしてモーツァルトはウィーンで、最後の十年間を生きた。否、生き抜いたというべきだろう。ウィーンはこうして第二の故郷となり、そのウィーンで、彼モーツァルトは、後世によって惜しまれるほどの輝かしい命を燃焼しつづき、彼自身にとってはおそろしく悔いのない、充溢し切つた人間生活と作曲活動の弧を描き終えたのである。



グラーベンの方から眺めた聖シュテファン大聖堂の威容

目次

ウィーンのモーツァルト — 3

第一章
シェーンブルン宮にて — 15

第二章
へビアの国に生きる — 47

第三章
ウィーンのモーツァルト散策 — 73

第四章
モーツァルト葬送 — 95

第五章
ウィーンの二世紀 — 107

ウィーンのモーツァルトモーツァルトのウィーン — 119
稲生 永

モーツァルト年譜 — 120



ベルヴェデーレ宮とその庭園

Wien ヴィーン市街図



- 1 ヴィーン司教座大聖堂 : シュテファン教会 **Stephansdom**
- 48 ウンテレス・ベルヴェデーレ宮 **Unteres Belvedere** (1714-1716)
- 50 オーベレス・ベルヴェデーレ宮 **Oberes Belvedere** (1721-1722) :
オーストリア 19-20世紀美術館 **Osterreichische Galerie des 19. und 20.
Jahrhunderts**
- 51 シェーンブルン宮 **Schloss Schönbrunn**
- 52 アウガルテン **Augarten** (1649/50 ; 1775 一般公開)と
アウガルテン宮 **Augartenpalais**, ガルテンハウス **Gartenhaus**
(現 磁器製作所 Porzellanfabrik) : 2, Obere Augartenstraße 1
- 53 孤児院教会 **Waisenhauskirche** (1768) : 3, Rennweg bei Nr.91
- 54 旧アウエルスベルク侯爵邸 **Palais Auersperg** (1706) :
8, Auerspergstraße 1
- 55 ラント通り **Landstraße 224**番地の旧居跡 : 3, Landstraßer
Hauptstraße 75
- 56 「ツウ・デン・ドライ・シュテルネン (三星館)」 **Zu den drei Sternen** 跡:
18, Währingerstraße 28
- 57 聖マルクス墓地 **St. Marxer Friedhof** (1784) : 3, Leberstraße 6-8
- 58 中央墓地 **Zentralfriedhof** (1874) : 11, Simmeringer Hauptstraße
- 59 モーツァルト・ブレンネン **Mozart-Brunnen** : 4, Mozartplatz
- 60 マリアヒルファー教会 **Mariahilfer Kirche** : 6, Mariahilferstraße 55
- 61 ハイドン記念館 **Haydn-Museum** : 6, Hayngasse 19
- 62 シューベルトの生家 **Schuberts Geburtshaus** : 9, Nussdorferstraße 54
- 63 フォルクスオーバー **Volksoper** (1898) : 9, Währinger Straße 78
- 64 プラター **Prater**
- 65 大観覧車 **Riesenrad** (1897)
- 66 ヴィーン西駅 **Westbahnhof**
- 67 ヴィーン南駅 **Südbahnhof**
- 68 ヴィーン中央駅 **Bahnhof Wien-Mitte**
- 69 ヴィーン・フランツ・ヨーゼフ駅 **Franz-Josefsbahnhof**
- 70 国連都市 **UNO-City** (1979)
- 71 シュタットハレ **Stadthalle**
- 72 北橋 **Nordbrücke**
- 73 フローリズドルファー橋 **Floridsdorfer Brücke**
- 74 ブリギッテナウアー橋 **Brigittener Brücke**
- 75 帝国橋 **Reichsbrücke**
- 76 プラター橋 **Praterbrücke**
- 77 ドナウ公園 **Donaupark**
- 78 コーベンツル **Am Cobenzl**
- 79 カーレンベルク **Kahlenberg**

遠く聖シュテファン大聖堂を望む。手前の建物は市立公園内にあるクアサロン

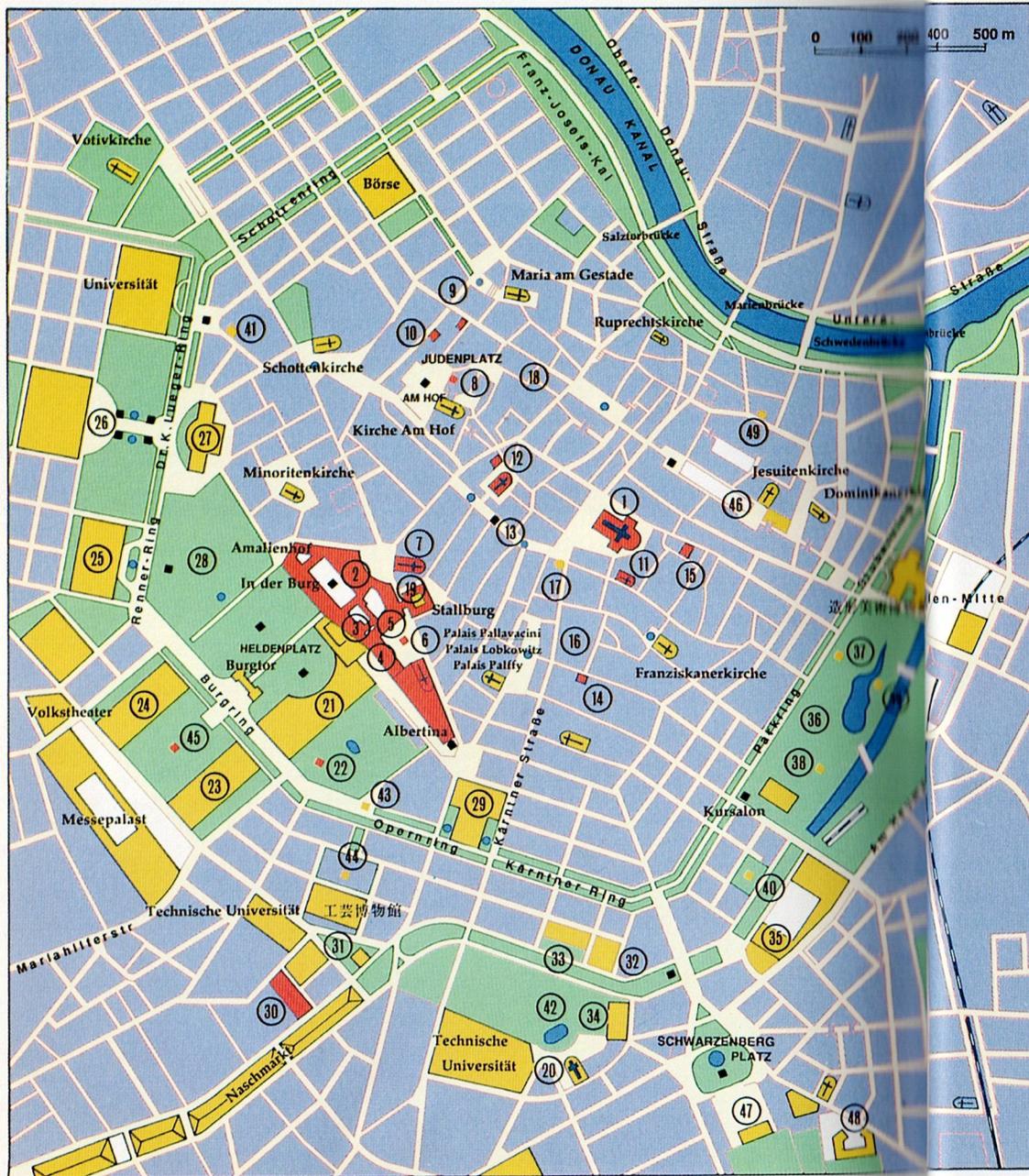


ホーフブルクの付属庭園であるブルク庭園のモーツァルト記念像。ヴィクトル・ティルグナーの作で、1896年、国立歌劇場の裏手、アルベルティーナ広場に建立されたものを、戦後ここに移した。

オーベレス・ベルヴェデーレ宮の南面。ベルヴェデーレ宮は、プリンツ・オイゲンが1714年ルークス・フォン・ヒルデブラントに建造を命じた夏の離宮。広い庭園の北と南にバロック様式のふたつの宮殿がある。北側の低い位置にあるウンテレス・ベルヴェデーレ（下の宮殿）は1766年に完成し、現在ではオーストリア・バロック芸術博物館と中世芸術博物館になっている。南側の高い位置にあるオーベレス・ベルヴェデーレ（上の宮殿）は1721年から1722年にかけて建造され、現在では19・20世紀オーストリア美術館になっていて、クリムトなどの作品が展示されている。



Wien ヴィーン都心部



- 1 ヴィーン司教座大聖堂：シュテファン教会 **Stephansdom**
- 2 ホーフブルク（王宮）**Hofburg / Alte Burg**
- 3 ブルクカペレ（宮廷礼拝堂）**Burghkapelle (1447-49)**
- 4 宮廷図書館 **Hofbibliothek**(国立図書館 **Nationalbibliothek**) : 1, Josefplatz (1735)
- 5 宮廷舞踏会場（レドゥーテンザール **Redoutensaal**）
- 6 ヨーゼフ広場 **Josefsplatz** とヨーゼフ 2世像 (1732)
- 7 聖ミハエル教会 **Michaelerkirche** (13世紀-1792) : 1, Michaelerplatz
- 8 コラルト伯爵邸 **Palais Collalto**: 1, Am Hof 13
- 9 「赤剣館」 **Zum roten Säbel**: 1, Wipplingerstraße 19
- 10 ティーフアー・グラベン **Tiefer Graben** 18 番地
- 11 ドイツチェス・ハウス **Deutsches Haus / Deutschorndenhaus** とドイツ騎士団教会 **Deutschorndenkirche St-Elisabethen** : 1, Singerstraße 7 / Stephansplatz 4
- 12 「神の眼館」 **Zum Auge Gottes** : 1, Milchgasse 1 / Petersplatz 11
- 13 グラーベン **Graben**
- 14 ヤーン・レストラン **Restaurant Jahn**（ヤーン館）1, Himmelfortgasse 6
- 15 フィガロ ハウス **Figaro-Haus** : 1, Domgasse 5 / Schulerstraße 8
- 16 クライン・カイザーシュタイン館 **Kleines Kaisersteinhaus** 跡: 1, Rauhensteingasse 8
- 17 シュトック・イム・アイゼン **Stock im Eisen**
- 18 旧市庁舎 **Altes Rathaus** (1316-1883) : 1, Wipplingerstraße
- 19 ペータースキルヘ（聖ペテロ教会）**Peterskirche** (1702-1708)
- 20 カールスキルヘ（カール教会）**Karlskirche** (1716-1739)
- 21 新王宮 **Neue Burg** (1881-1913) : エフェソス博物館, 楽器博物館, 武器博物館, 民族博物館, 会議場
- 22 ブルクガルテン（王宮付庭園）**Burggarten** (1818) のモーツァルト記念碑 **Mozart Denkmal**
- 23 美術史博物館 **Kunsthistorisches Museum** (1872-1891)
- 24 自然史博物館 **Naturhistorisches Museum** (1872-1891) : 1, Burgring 7
- 25 国会議事堂 **Parlament** (1883)
- 26 市庁舎 **Rathaus** (1872-1883) と市庁舎広場 **Rathausplatz**
- 27 ブルク劇場 **Burghtheater** (1874-1888) : 1, Dr.-Karl-Lueger-Ring 2
- 28 フォルクスガルテン **Volksgarten** (1823)
- 29 国立歌劇場 **Staatsoper** (1861-1869) : 1, Opernring 2
- 30 アン・デア・ヴィーン劇場 **Theater an der Wien** (1801) : 6, Linke Wienzeil 6
- 31 ゼツェッシオン（分離派館）**Secession** (1897-98)
- 32 ムジークフェライン（楽友協会）**Musikvereinsgebäude** (1867-69)
- 33 キュンストラウハウス（芸術家館）**Künstlerhaus** (1868)
- 34 ヴィーン市立歴史博物館 **Historisches Museum des Stadt Wien** : 4, Karlsplatz
- 35 コンツェルトハウス **Konzerthaus** (1913), アカデミー劇場 **Akademietheater** (1922), 国立音楽演劇大学 **Hochschule für Musik und darstellende Kunst**
- 36 市立公園 **Stadtpark** (1862)
- 37 シューベルト記念碑 **Schubert Denkmal**
- 38 ヨハン・シュトラウス記念碑 **Johann Strauss Denkmal**
- 39 ブルックナー記念碑 **Bruckner Denkmal**
- 40 ベートーヴェン広場 **Beethovenplatz**のベートーヴェン記念碑 **Beethoven Denkmal** (1880)
- 41 ベートーヴェン記念館 **Beethoven Pasqualatihaus** : 1, Mölkerbastei 8
- 42 ブラームス記念碑 **Brahms Denkmal** : 4, Karlsplatz
- 43 ゲーテ記念碑 **Goethe Denkmal** (1901) : 1, Goethegasse
- 44 シラー広場 **Schillerplatz** のシラー記念碑 **Schiller Denkmal** (1876)
- 45 マリア・テレジア記念碑 **Maria-Theresien-Denkmal** (1887) : 1, Maria-Theresien-Platz
- 46 旧大学 **Alte Universität** : 1, Dr.-Ignaz-Seipel-Platz 2
- 47 シュヴァルツェンベルク宮 **Palais Schwarzenberg** (1697-1728)
- 48 ウンテレス・ベルヴェデーレ宮 **Unteres Belvedere** (1714-1716) : バロック美術館
- 49 グリーヘンバイズル **Griechenbeisl** : 1, Fleischmarkt 11



アン・デア・ウィーン劇場のミュレック
一通り側の入口。シカネーダーのアウフ
・デア・ヴィーデン劇場が手ぜまになっ
たため、新たに建造した劇場。ドーナウ
河の支流のウィーン川のほとりに建てら
れたため、ウィーン河畔劇場の名がある。
1801年6月13日開場

カール教会。ウィーンで最も美しいバロ
ック様式の教会堂。1713年のベストの流
行の際、その鎮静の祈願をしたカール6
世が建立した。当時の有力建築家ヒルデ
ブラント、ガッリ・ビビエーナ、ヨハン
・ベルンハルト・フィッシャー・フォン
・エルラハラが設計を競い、エルラハの設
計案が採用されて、1716年から1722年
にかけて建設に従事。そのあとを息子のヨ
ーゼフ・エマヌエルが継いで1739年に
完成させた。教会堂の切妻壁にはめられ
たベストの絶滅を描いた浅浮彫はスタネ
ッティの作。2本の円柱にはカール6世
の生涯が浅浮彫で刻まれている。内陣は
バロック建築にしては簡素で調和がとれ
ている。モーツァルトは、1762年のウィ
ーン滞在の際、結節性紅斑病が治ったあ
との11月4日に、この教会を訪れている。

リング通りに威容を誇るウィーン国立歌劇場（シュターツオペー）[下]では毎年1回、「オペラ座舞踏会」[上]がおこなわれる。



海老沢 敏 (えびさわ びん)

1931年生れ。東大文学部卒。現在国立音楽大学学長。ザルツブルク国際モツアルテウム財団中央モーツァルト研究所員。モーツァルト、ルソウの研究で知られる。主な著書に『モーツァルトの生涯』、『モーツァルトを聴く』、『モーツァルト像の軌跡』、『モーツァルトは宇宙』、『ルソウと音楽』他多数。

稲生 永 (いのう ひさし)

1932年生れ。東大仏文卒。現在立教大学教授。19・20世紀フランス文学専攻。主な著書に『魔法の地理学——フランス文学紀行』、『写真集・フランスの歴史と文学』、共編著に『事典・現代のフランス』、共編訳書に『ネルヴァル全集』、『ランボー全集』。

地図製作：稲生 永

写真資料協力：ヴィーン楽友協会

写真提供：オーストリア政府観光局

堀田正實 (P 26, 29 下, 30 下, 32, 44, 49 下,
78~79, 89, 96, 109, 112 上下)

music gallery special

モーツァルトの旅⑤
ヴィーン—栄光と黄昏

一九九二年七月十日 第一刷発行 ©

●著者—海老沢 敏

●写真—稲生 永

●発行者—淺香 淳

●発行所—株式会社 音楽之友社

〒162 東京都新宿区神楽坂六—三〇

電話 (三三五) 二二二—(代)

受注専用 (三三〇) 四二九—

振替 東京七—一九六二五〇

●写植—木杵舎

●印刷・製本—共同印刷

●装幀—菊地信義

●レイアウト—押山マサル

ISBN 4-276-38405-2 C 0073

この著作物の全部または一部を権利者に無断で複製 (コピー) することは、著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。

Printed in Japan